

競技注意事項

1、規則

- ① 競技は2015年度(公財)日本陸上競技連盟規則、及び本競技会要項、申し合わせ事項によって行う。
- ② 走高跳以外のフィールド種目については、3回の試技をもって終了とする。

2、練習

- ① 8:50まで競技場内を練習に開放する。それ以降は公園内競技場外周路、バックストレート、練習走路等を使用すること。
- ② ウォーミングアップは、公園内競技場周辺で危険防止に十分注意して行う。
バックストレートは、100m・200m・ハードル競技の時に、支障のない限り認める。
- ③ フィールド競技の練習は、競技開始前に競技役員の指示により競技場内で行う。
特に投てき種目については安全に十分注意し、競技場外での投てき練習は一切禁止する。

3、競技場・スパイクピンの長さ

この競技場は、全天候型の競技場です。

スパイクピンは、9mm以下の使用を厳守すること。ただし、走高跳の場合は12mm以下とする。

4、招集・入退場

- ① 招集所は、第3コーナー外付近に設ける。(天候により、第4コーナー器具庫内に設ける)
- ② 招集時間及び完了時間は下記の通りとする。

| 種 目 | 時 刻 |
|---------|-----------------------|
| トラック競技 | 競技開始30分前開始 競技開始15分前完了 |
| フィールド競技 | 競技開始45分前開始 競技開始30分前完了 |

- ③ 招集は1回で、上記の時刻までに競技者本人(代理人は認めない)が招集所に集合し、競技者係から点呼を受ける。点呼を受けた競技者は競技者係の指示に従う。
- ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。
(スタート地点・競技場所まで集合しても出場を認められない。)
- ⑤ トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右腰後部につけること。
(リレー競技は第4走者のみ)
- ⑥ 競技場への入場については競技者係の指示に従う。
トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に渡し、フィニッシュ側階段から各待機場所に戻る。
フィールド競技は、競技終了後競技役員の指示で競技場から退場する。

5、ナンバーカードおよび腰ナンバーカード

- ① 一般・小学生については、主催者配布の指定するナンバーカードを使用する。
高校・中学生については、高・中体連陸上競技専門部指定のものを使用する。
- ② ナンバーカードは、胸(腹ではない)と背にしわにならないように伸ばして、四隅をしっかりとつける。
ただし、走高・走幅跳は胸または背だけでよい。
- ③ 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後、直ちに返却すること。
トラック種目については、招集所において渡された腰ナンバーカードを右腰後部につける。
(ただし、リレーは第4走者のみとする。)

6、走高跳のバーの上げ方

走高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。(天候、その他諸事情・条件によって変更する場合もある)

| 競技種目 | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 備考 |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------------------|
| 高校一般男子走高跳 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m80 | 1m85 | 以後の高度は、 審判長の指示による。 |
| 高校一般女子走高跳 | 1m15 | 1m20 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | | | | |
| 中学男子走高跳 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 以後の高度は、 審判長の指示による。 |
| 中学女子走高跳 | 1m15 | 1m20 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | | | | |

7、フィールド競技における試技時間について

『競技規則第180条18.遅れ』に示す制限時間の規則を適用する。

8、リレー競技について

- ① リレー競技4×100mRのオーダー用紙は受付時に、4×400mRは招集所で配布します。
提出について。その競技種目開始1時間前までに、受付のリレーオーダー係に2部提出する。
オーダーについて、プログラムリレー種目に記載してあるチームのメンバー以外をオーダーする場合、その競技者の、本記録会エントリー種目・組・レーン(試技順)をオーダー用紙に必ず記載すること。
- ② リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用すること。
- ③ リレーのマーカの使用は1カ所とする。(第170条4、を適用)

9、記録

- ① この競技会の記録については、(公財)日本陸上競技連盟への公認申請を行います。
- ② トラック種目の競走競技はすべてのレースにおいて、写真判定(電気計時)を採用する。

10、競技からの除外

競技運営上、必要と認めた場合、審判長は特にレース圏外の競技者のレースを中止させることがある。

11、抗議

抗議申立書と預託金10,000円を添えて総務に提出。(記録発表後30分以内)

12、その他

- ① プログラム記載内容の訂正は、8:45までに総務へ申し出ること。
以後の訂正については、主催者側の誤編成・誤記等以外は受け付けない。
- ② 控所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努める。
(各学校の顧問の先生方へ。ゴミ・空缶等の持ち帰りの指導をよろしくお願いいたします。)
- ③ 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任を負わない。
- ④ グラウンドには、競技者・競技役員以外は入ってはいけない。
競技者は、フィールドを横断して試技場所への往復、本部前通行は厳に慎むこと。
チームメイトのウェアなどを受け取りに、競技者以外がグラウンドに入ることを認めない。
- ⑤ 競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。
競技参加者は、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。
- ⑥ 陸上競技場以外の松戸運動公園内施設は、借用していないので立ち入らないこと。